



11月11日 いいたて希望の里学園

飯館ライオンズクラブから 学園とホームに心温まる寄贈

『飯館ライオンズクラブ』（長谷川長喜会長／宮内）が、「いいたて希望の里学園」と「いいたてホーム」へ、心温まるプレゼントを贈りました。

学園へはタブレットケース約50個を。1人1台活用しているタブレット本体と付属のペンを一緒に収納できるタイプで、ケースは前期課程を中心に配付されます。

またホームへは加湿器3台を。贈呈式に出席した入居者代表に、長谷川会長が、「活用していただき、ぜひ元気で長生きを」と声をかけると、入居者さんも「どうもね」と優しい笑顔で感謝を伝えました。



11月20日 いいたてホーム

農業者との意見交換会 花卉農家と関係機関が情報共有

10月31日、交流センター「ふれ愛館」で、村農業委員会主催の『令和4年度農業者（花卉）意見交換会』を開催しました。第1部では、市場関係者を交えて、最新の市場動向などの情報を共有。第2部には杉岡村長も出席し、村への要望なども含めた意見交換を行いました。会には、花卉農家25人をはじめ、村農業委員会、県相双農林事務所、JAふくしま未来などが出席。意見を交わす中で、土づくりや人手の確保、出荷方法などにも話題が及び、それぞれの立場から活発な議論が続きました。



関係者が一堂に。7月に実施した畜産農家との意見交換会に続き、今年度2回目の開催です。

秋のイベントに続々出展 村の物産を各地でアピール

この秋各地のイベントに出展し、村の物産をPRしました。11月5日は「つながるフェスタ」（福島市）、同23日は「ふくしまフェスティバル」（愛知県名古屋市）、同27日は「福島くらし&しごとフェア」（東京都千代田区）に出展。産品を通して来場者に村の魅力を伝えました。また、10月30日には東京都中央区で、11月13日には大玉村で「日本で最も美しい村」連合のイベントにも出展。小宮民俗芸能保存会の皆さんには「小宮の田植え踊り」を披露していただきました。（表紙もご覧ください）



写真は「道の駅ふくしま」で行われた「つながるフェスタ」の様子。物販や展示で多くの人と交流しました。

老人クラブ連合会 防災センターで防災研修交流会

11月5日、飯館村老人クラブ連合会が、飯館村地域防災センターで『村民防災研修交流会』を開催。約60人が参加しました。防災研修では、村職員を講師に、「飯館村防災ハザードマップ」を確認。災害時に避難する際の注意点や、準備したい防災グッズについて学び、続いてセンター内を見学しました。

交流会では、旧校庭で「ホールインワンゲーム」を楽しみ、飯館村赤十字奉仕団が災害時の訓練を兼ねて炊き出しをした防災食、「ハイゼックス炊飯」のご飯と豚汁で会食しました。



防災研修は、地域防災センターの多目的ホールで行いました。奥中央はあいさつする菅野茂連合会長。

農業委員会が村内農地視察 ほ場をめぐり現状を共有

11月18日、飯館村農業委員会が、『村内農地視察研修』を行いました。当日は、17人の委員が参加して、村の担当者と共に、宮内地区、八木沢・芦原地区、小宮地区、蕨平地区、関沢地区をバスでめぐり、それぞれのほ場で現状や課題、特徴的な取り組みなどについて聞きました。現地で農家の方から話を聞く機会もあり、参加した委員は「生の声を聞くことができよかった。視察の意義を感じた」と話していました。農業委員会では、村内農地の視察研修を、今後も引き続き行っていきます。



蕨平地区では、菊地廣行さんのほ場を視察。作付けの状況や営農上の課題を聞き取りました。

相馬農業高校×森林組合 高校生が林業の現場を見学

11月10日、県立相馬農業高校（南相馬市）の『林業見学会』が、二枚橋地区の「ふくしま林業再生事業施工地」で行われました。これは同校と県相双農林事務所の連携事業で、環境緑地科の1年生13人が現地を訪れ、飯館村森林組合の実演で、林業機械による伐木や掘削、木材の積み込みなどを見学。森林の役割や手入れの重要性なども学びました。講師を務めた組合の皆さんは、地域の実情や林業への想いも伝え、「ぜひ進路選択の一つに」と、職業としての魅力もアピールしました。



最新の林業機械の作業は圧巻。代表生徒が「体験を今後の学びに生かしたい」と協力を感謝を伝えました。